

都市づくり部

運営方針

まちの発展に向けた活性化事業と持続可能なまちづくりの推進

都市づくり部は、本市が魅力ある都市として持続、発展していくため、第5次総合計画、都市計画マスタープランに示された集約連携都市を目指します。

また、道路・橋梁・公園・公営住宅などの都市インフラ施設の適正な管理、整備、長寿命化に努めるとともに、市民の大切な移動手段である公共交通の維持・充実を図り、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

【重点施策とめざす方向】

まちの発展に向けた活性化事業の推進

河内長野駅周辺地区まちづくり方針の具現化に向けた取組みを推進することにより、都市拠点における中心市街地の活性化を図るとともに、小山田西地区、上原・高向地区などにおいて、計画的まちづくりを誘導し地域価値を高める取組みを進めます。

また、公園の活性化に向けた情報のデジタル化や情報発信システムによる市民サービスの向上に努めます。



【実績】

目標どおり達成

・中心市街地活性化の推進

河内長野駅周辺地区のまちづくり将来像（案）を、地域の有志の方々との検討会（計4回実施）にて作成しました。また、地域の地権者や住民の方々を対象とした説明会を開催し、まちづくり将来像（案）及び今後のまちづくりの進め方等について説明を行いました。

・地域の実情に合わせた計画的なまちづくりの推進

小山田西地区については、事業化に向けた地域への支援を行い、地元協議会では令和4年10月に事業化検討パートナーを選定し、令和5年3月には土地区画整理準備組合が設立されました。

高向・上原地区については、事業化に必要な都市計画決定等の行政手続きを進め、令和5年1月に土地区画整理組合が設立されました。

・公園の活性化に向けた取組みの推進

公園・緑地台帳についてデジタル化を実施し、公開型GIS等（かわちーず）にて広く情報発信するためのシステム構築を行いました。またLINEと連携することで、市民に分かりやすく公園情報等の地図情報やその他行政情報を発信していくことが可能となり、市民サービスの向上を図りました。

持続可能なまちづくりの推進

公共交通の再構築に向けた取組みを推進するとともに、持続可能な公共交通の維持・充実を図るため、来年度以降の具体的な取組み施策を定める地域公共交通計画を策定します。

また、空家等対策計画に基づき、転入定住促進に向けた住宅政策事業を推進するとともに、良好なまちの形成に向け、都市計画の策定を進めます。



目標どおり達成

・公共交通の再構築に向けた取組みの推進

公共交通の再構築の一環として石見川地域への自家用有償旅客運送の導入を実施するとともに、ウィズコロナや高齢化の進展に対応した公共交通網の構築のため、第5期目となる河内長野市地域公共交通計画を策定しました。

・転入定住促進に向けた住宅政策事業の推進

空家等対策計画に基づき、地域と連携して空き家セミナーを開催したほか、民間不動産事業者団体と連携して、空家等の利活用支援制度を創設しました。

さらに、鉄道の車内広告やインターネットのバナー広告等を活用して本市の魅力発信を積極的に行い、若年・子育て世代の転入定住促進に努めました。

・良好なまちの形成に向けた都市計画の策定の推進

良好なまちの形成に努めるため、本市の実情や新たな課題に対応した都市計画マスタープランと立地適正化計画の一部改定を行いました。

道路ネットワークの充実と道路基盤の整備

本市の活性化に寄与する道路ネットワークの充実を図るため、大阪南部高速道路の事業化促進や堺アクセス道路の整備促進に取り組めます。

また、交通安全対策や道路基盤整備に取り組み道路環境の充実を目指します。



目標どおり達成

・広域幹線ネットワークの促進

中期的な構想としては、大阪河内長野線の延伸及び堺方面へのアクセス道路整備、長期的な構想としては、大阪南部高速道路の事業化に向けた啓発活動や関係機関への要望活動などを行いました。

・道路環境の充実

野作赤峰下里線（寺ヶ池工区）の概略設計や、堺アクセス道路の予備設計を実施し、路線の線形や構造物の検討を行いました。

インフラ施設の計画的な維持管理

道路、橋梁、トンネル及び公園施設などのインフラ施設を安全・安心に利用できるよう、長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理に取り組めます。

また、効率的な道路の維持管理を進めるため、道路情報のデジタル化に取り組み道路等の地図情報の3D化を推進することで、防災や交通、その他の社会課題解決のための基礎データを構築します。



ほぼ目標どおり達成

・道路、橋梁、トンネルの計画的な維持管理

利用者が安全かつ安心して利用できる道路施設を目指し、計画的な修繕を行いつつ適正な維持管理を行いました。

・公園施設の計画的な維持管理

長寿命化計画に沿って、寺ヶ池公園の八つ橋（ショウブ園）、園路灯及びベンチの改修等を行いました。

・効率的な道路の維持管理

地図情報の3D化を推進し、他課と連携し、統合型及び公開型GIS（かわちーず）の運用を開始したことで、道路情報をホームページで閲覧することが可能となり、利用者の利便性向上に寄与した。